

『1月は行く、2月は逃げる、3月は去る』という言葉を目にしますが、1月1日のショッキングな災害、能登半島地震で始まった2024年も2月を迎えました。学校にとって1月から3月は、一年間のまとめを行う大切な時期です。また新年度に向けた目標設定を行う時期でもあり、何かとお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。

この一年間いろいろとご協力ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願い致します。

2023年度環境整備事業報告 **大変身!波崎第一中学校**



before

2015年に新校舎が建てられた波崎第一中学校。もちろん学校図書館も新しい書架が並び一新されました。今回の環境整備事業では、読書スペースを拡充することで、より一層生徒が読書を楽しみながらくつろげる場所へ変身することができました。生徒にとっても好評です。

以前からあったソファーにカバーを掛けて部屋の統一感を出しました。

有孔ボードのパーティション。フックが掛けられるので本の展示が可能です。

after



座り心地抜群の椅子

手軽に持ち運びができる軽い木製スツール

スカートでも気にすることなく座れる畳ベンチ

これまでの波崎第一中学校の学校図書館は若干狭いこともあり、本を探して借りるための場所でした。しかし今回の環境整備事業により、生徒が気軽に入室し、くつろぎながら読書することができる場所（「心の居場所」）としての学校図書館へと変化しました。現在は、あまり利用していなかった生徒も足を運ぶようになり、貸出冊数も若干ではありますが増加傾向にあるそうです。

今年度は、波崎第一中学校の他にも、大野原小学校、太田小学校の環境整備事業を行いました。どの学校からも喜びの声が届いています。



「先生の読書の仕方を知りたいです。」以前出前講座で訪れた小学校の6年女児に質問されたことがあります。私は「一日15分読書、どんなに先が気になっても長時間は読まないというのが基本」と回答しました。

子どもの頃、特に小学校時代は図書室に通い詰めるほどの読書好きな私でした。しかし教員になってからはすっかり本を読まなくなりました。理由はもちろん『時間がない』です。そんな自分の生活を変えようと試み、仕事帰りに本屋に立ち寄っては『人気ランキング』の中から一冊購入し読むことにしました。しかし、どうしても無理が生じ、いつしか読書が苦しみになっていました。

そこで自分の読書スタイルを見直してみることにしました。「1. 本は常に持ち歩く 2. 長時間読まない 3. 合わない本は途中でやめる」の3原則です。するといつの間にか自分なりの読書習慣が身に付き、読書が私の生活の一部になりました。

皆さんも、ぜひ、自分の読書スタイルを見つけてみてはいかがでしょうか。『読書は無限の力、その力を獲得するために必要なものは、少しの時間』ある人が言っていた私の好きな言葉です。

学校図書館アドバイザー 高田 悦子

先生方、大活躍!! 各学校の取り組みを紹介します。



毎日有効活用しています。
太田小学校の手作りブックトラックです。



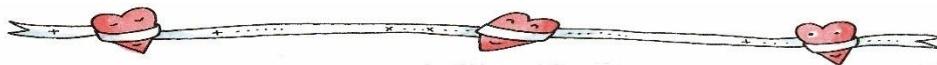
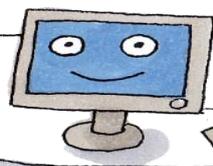
神栖第四中学校の手作り書架です。「先生方おすすめ本コーナー」に使用しています。



素敵な贈り物!!



植松小学校に波崎高等学校から「ブックトラック6台」の贈り物が届きました。



年度末は新学期への準備の時期です!

今年度も残りわずかとなりました。新学期、学校図書館運営がスムーズにスタート出来るようしっかりとまとめ(統計、除籍、書架整理)をしましょう。また今年度は、昨年度よりさらに提出物が早くなっていますので、この時期から準備に取り掛かることをお勧めします。

【提出物】

- ① 2023年度学校図書館調査
 - ② 学校図書館活用実施記録
- 提出物×切: 3月22日(金)

【配本回収予定】

【第5回目】

波崎方面: 回収3/13(水)
神栖方面: 回収3/14(木)

【団体利用カード更新】

有効期限は3月31日迄です。新年度になりましたら、中央図書館カウンターで更新して下さい。

※ 来年度より、新年度の最新号に「一年間の統計(昨年度の実績)」を掲載していきます。ご了承ください。